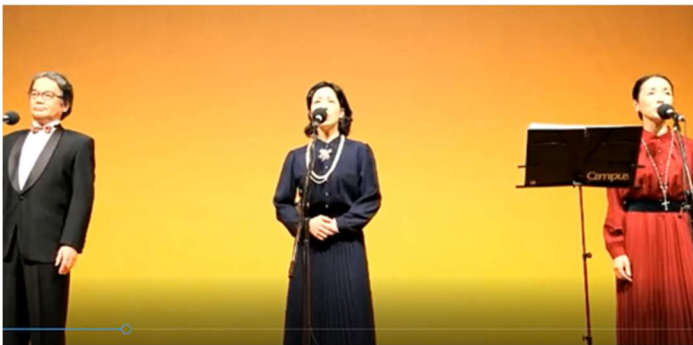


特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 第 65 回全国大会 in 秋田
実施報告書

1	日 時	2021 年 11 月 5 日（金）6 日（土）
2	会 場	秋田県総合生活文化会館アトリオン 4F 音楽ホール 6F 秋田県中央男女共同参画センター、7F 研修室
3	主 催	特定非営利活動法人全国女性会館協議会 NPO 法人いきいき F ネット秋田 秋田県
4	共 催 等	共催：公益財団法人秋田県女性会館、JICA 東北センター 協力：全国女性会館協議会全国大会 in 秋田実行委員会、中央男女 共同参画センター利用者懇談会、特定非営利活動法人秋田県北エヌ ピーオー支援センター、特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター 秋田 F・F 推進員（個人） 協賛：日本テトラパック株式会社 後援：秋田市、公益財団法人秋田観光コンベンション協会
5	主 題	ジェンダー平等を目指して ～誰一人取り残さない社会とは？～
6	募集方法	①会員館への要項・参加申込書のメール配信 ②チラシ配布 ③秋田県中央男女共同参画センター全国大会専用ホームページ ④全国女性会館協議会ホームページ
7	プログラム	11 月 5 日（金） （会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催） ①開会行事 ◆ウェルカムステージ「劇団わらび座」  ◆主催者挨拶 佐竹 敬久（秋田県知事） 納米 恵美子（特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事） 佐藤 加代子（NPO 法人いきいき F ネット秋田）



◆来賓挨拶

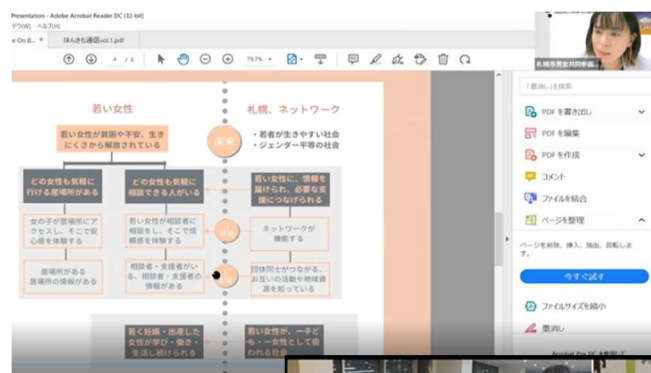
林 伴子（内閣府男女共同参画局長）

藤原 章夫（文部科学省総合教育政策局長）



◆事業企画大賞

- ・事業企画大賞（1事業）、奨励賞（3事業）表彰
- ・講評 審査委員長 近藤 正（秋田県立大学生物資源学部准教授
秋田県中央男女共同参画センター運営委員）
- ・事業企画大賞 大賞事業紹介
さっぽろ若年女性支援ネットワーク「Cloudy」
札幌男女共同参画センター
- ・協賛会社メッセージ 日本テトラパック株式会社

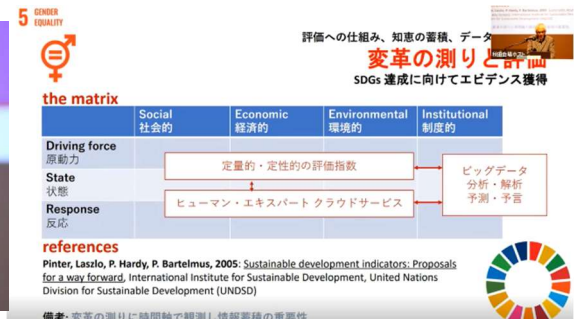


②特別講演

「日本社会の未来創造

ー政策・方針決定過程における女性参画の真の意味ー」

〔講師〕 モンテ・カセム（公立大学法人国際教養大学理事長・学長）

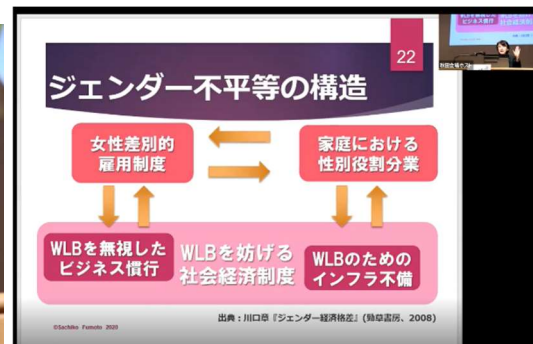


③基調講演

「チェンジメーカーになろう

～女性（わたし）達の選択で未来は変わる～

〔講師〕 麓 幸子（作家、ジャーナリスト、元日経ウーマン編集長）



④パネルディスカッション

「あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画を進めるために」

〔コーディネーター〕 麓 幸子

〔パネリスト〕 鈴木 真実（秋田県議会議員）

能登 祐子（能代市自治会連合協議会会長）

藤村 幸（榊健康米味楽農場代表取締役）

陶山 さなえ（秋田県理事）





藤村 代表取締役
株式会社
ふじむら

陶山 秋田県

第1日目閉会

11月6日（土）

（会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催）

①分科会

◆第1分科会

「ユース世代から発信！私たちが考えるジェンダー平等社会
～世代間アプローチとセンターでの学びの実践について～」

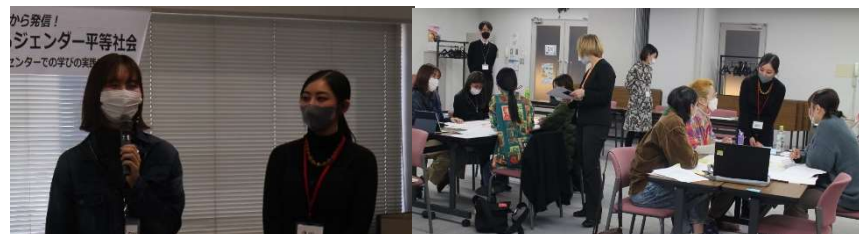
ワークショップ「安心して見られるCMルールブックを作ろう」

〔ファシリテーター〕大城 舞未加（国際教養大学4年）

原田 すみれ（国際教養大学2年）

〔アドバイザー〕堀井 里子（国際教養大学国際教養学部助教）

和泉 浩（秋田大学教育文化学部教授）



◆第2分科会

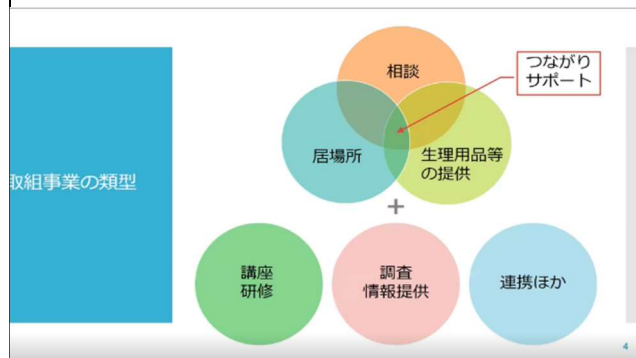
「コロナ禍で苦境にある女性への支援

～相談支援の実際とセンターの役割について～

〔ファシリテーター〕松坂 憲男（秋田県北部男女共同参画センター センター長、秋田大会副実行委員長）

〔報告〕谷口 年江（静岡市女性会館館長、全国女性会館協議会 常任理事）

〔事例発表〕仁科 あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団）



ドーンセンターで何ができるか・・・

女性たちの声
(取組みの背景)

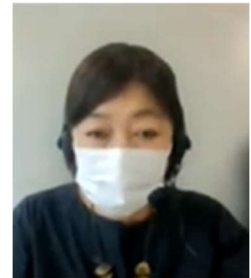
センターの特徴

できること・
できないこと

- ・話を聴く（どこ・誰に言ったらいいのかわからない、混乱、入り口、敷居を低く、悩みとは思っていないかも）→つながり
- ・情報探し（情報は力なり）
- ・物品提供（就活のための必要なもの、スーツでエンパワメント、自分の買物をしたことがない、組み合わせがわからない、地域に支援・応援の輪を広げる）
- ・孤独・孤立を防ぐ（サポートグループ）

<実現のための課題>

- ・ヒト・モノ・場所



◆第3分科会

「これからのセンターのあり方を考える」

～地域における男女共同参画の拠点施設として、これからの社会のセンターについて考える～

〔ファシリテーター〕野口 聡子（JICA 東北秋田デスク、

秋田大会実行委員長）

〔サブ・ファシリテーター〕井上 博子（秋田県南部男女共同参画

センターセンター長、秋田大会副実行委員長）

センターの機能や取り組みは

① SDGs（持続可能な開発目標）17の目標のうち、どのゴールに関連している？

1. 貧困をなくそう	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
2. 飢餓をゼロに	10. 人や国の不平等をなくそう
3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを
4. 質の高い教育をみんなに	12. つくる責任 つかう責任
5. ジェンダー平等を実現しよう	13. 気候変動に具体的な対策を
6. 安全な水とトイレを世界中に	14. 海の豊かさを守ろう
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	15. 陸の豊かさも守ろう
8. 働きがいも経済成長も	16. 平和と公正をすべての人に
	17. パートナリーシップで目標を達成しよう



②展示

- ・「アートで見る性差別社会」(絵画)

大城 舞未加(国際教養大学4年)



- ・「あなたの「性差にまつわる差別の経験」を聞かせてください」

阿部 由布子(造形作家、秋田公立美術大学助教)

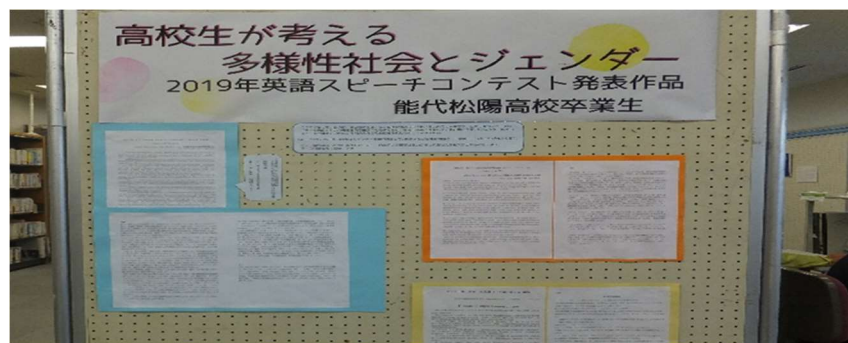
田村 萌絵(作家、秋田公立美術大学美術学部2020年卒)



- ・「高校生が考える多様性社会とジェンダー」

(2019年英語スピーチコンテスト発表作品)

能代松陽高校卒業生



③閉会式 全国女性会館協議会全体会

- ・分科会の報告
- ・協議会より事業説明・報告、連絡・周知事項の伝達



8	事業企画大賞	①事業企画大賞 ◆事業企画大賞 ・札幌市男女共同参画センター さっぽろ若年女性支援ネットワーク「Cloudy」 ◆奨励賞 ・城陽市男女共同参画支援センター パープルリボンライブ&DVの素朴なギモン展 ・富山県民共生センター「サンフォルテ」 女性のためのチャレンジ起業セミナー ・吹田市立男女共同参画センター「デュオ」 デートDV予防啓発業務 ②審査委員 ◆審査委員長 近藤 正（秋田県立大学生物資源学部准教授、秋田県中央男女共同参画センター運営委員） ◆審査委員 六澤 恵理子（秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 課長） 高山 万紀子（公益財団法人秋田県女性会館 代表理事） 柴田 美代子（特定非営利活動法人全国女性会館協議会常任理事） 佐々木 美奈子（秋田県中央男女共同参画センターセンター長）												
9	参加者数	11月5日（金） ・会場参加者 250人（秋田県男女共同参画担当者、秋田県男女共同参画センター登録団体等） ・オンライン参加 138人（会員館関係者78人、その他県外市町村・大学関係者20人、秋田県内40人） 11月6日（土） <table border="0"> <tr> <td>・分科会1</td> <td>会場参加者 14人</td> <td>オンライン参加者 34人</td> </tr> <tr> <td>・分科会2</td> <td>会場参加者 23人</td> <td>オンライン参加者 25人</td> </tr> <tr> <td>・分科会3</td> <td>会場参加者 20人</td> <td>オンライン参加者 28人</td> </tr> <tr> <td>・全大会</td> <td>会場参加者 41人</td> <td>オンライン参加者 43人</td> </tr> </table> ※アンケートは別に添付する	・分科会1	会場参加者 14人	オンライン参加者 34人	・分科会2	会場参加者 23人	オンライン参加者 25人	・分科会3	会場参加者 20人	オンライン参加者 28人	・全大会	会場参加者 41人	オンライン参加者 43人
・分科会1	会場参加者 14人	オンライン参加者 34人												
・分科会2	会場参加者 23人	オンライン参加者 25人												
・分科会3	会場参加者 20人	オンライン参加者 28人												
・全大会	会場参加者 41人	オンライン参加者 43人												

0	主催者感想	第 65 回全国大会 in 秋田にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。まずは 2 日間の大会日程を無事に終えられたことに安堵しております。 昨年度の熊本大会同様、新型コロナウイルス感染拡大の懸念がある中での開催となり、やむなく県外からの参加は原則オンラインとさせていただきました。しかしながら、全国そして県内から大勢の方にご参加頂き、ハイブリット方式で開催出来たことは私達にとっても今後への大きな自信に繋がったと考えております。 また、この度の開催に際しましては、日頃よりセンターと関わりのある方々と、そして秋田県内 3 つの男女共同参画センターと実行委員会を結成し、大会の運営を進めてまいりました。このことは地域における男女共同参画センターの位置付けとジェンダー平等の重要性を更に全国に発信し、なによりも男女共同参画推進の今日的課題解決に向け、全国の会員館や地域組織との今後に向けた有機的な連携のきっかけになり得ると感じております。 最後に、ご支援を賜りました全国女性会館協議会はじめ関係各所の皆様に心より感謝の気持ちを伝え、来年度のかわさき大会のご盛会をお祈り申し上げます。 (秋田県中央男女共同参画センター センター長 佐々木 美奈子)
---	-------	--